

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	271	犬・猫死体処理事業							
	この事務事業の位置		政策	自然環境を守り未来へつなぐまち								
			施策	緑を守り育て、まちを美しくしよう								
			基本事業	環境美化								
	主管課名		環境課		課長名	加藤 英樹						
	この事務事業の開始時期		平成15年4月1日		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律									
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	・道路上等での交通事故等により死亡した飼い主不明な犬・猫死体処理業務				・動物の愛護及び管理に関する法律第36条第2項による。 ・道路上等での交通事故等により死亡した飼い主不明な犬・猫等動物の死体を動物愛護及び環境衛生面において、適切かつ迅速に回収（土・日・祝日も対応）し、適切な施設で火葬した後、埋葬処理する。							
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			道路上等で死亡した犬猫等の死体処理を委託することにより、適切な方法で処理・供養する								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	対象事業に変化が無いいため、継続して実施				名称		単位					
					① 委託料		千円					
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 市内の公共用地で死亡した犬猫等					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
					名称		単位					
					① 市内の公共用地で死亡した犬猫の数		匹					
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 死体を処理する					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
					名称		単位					
					① 死体を処理した割合		%					
					②							
結果(上位基本事業の意図) 環境美化意識の醸成、環境美化の実践					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
					名称		単位					
					① 環境美化実践活動回数		回数					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の活動指標		① 千円			1,671	2,200	1,980	1,980	1,980			
		②										
(2)の対象指標		① 匹			317	400	360	360	360			
		②										
(3)の成果指標		① %			100	100	100	100	100			
		②										
(4)の結果の成果指標		① 回数			298	300	302	304	306			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	05
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	1,671	2,200	1,980	1,980	1,980			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	1,671	2,200	1,980	1,980	1,980			
人件費 B		千円	0	0	1,410.4	1,710.4	1,710.4	1,710.4	1,710.4			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	65×6	65×6	65×6	65×6	65×6			
正職員以外の人件費		千円	0	0	100	400	400	400	400			
その他の費用 C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	3,081.4	3,910.4	3,690.4	3,690.4	3,690.4			
単位あたりコスト		① 千円/匹	0	0	9.7	9.8	10.3	10.3	10.3			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名		No.	271	犬・猫死体処理事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	死体処理は適正に処理供養されている。継続して行うことが重要	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	現状で適正	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	現状で適正	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	すべての案件に対して適正に処理供養されているため、現在の水準を維持する		
		目的達成状況	内容	維持継続		
		市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市民の生活環境に直接関わってくる内容であり、市の職員が実情を知り、直接対応することが相応しいため		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	現状で適正		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	現状で適正		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	受益者がいないため、現状で適正	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	住民からは自己管理地内における死体処理についても依頼が寄せられている。	対応策	飼い主不明の動物の死体は道路や公共の場所に出されていれば処理している。
R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	野良の犬猫等の死体処理	変更・追加	変更はない。継続して行うことが重要	
今後の事業・コスト・成果の方向性		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ・避妊等手術費補助制度の積極的な啓発などにより、野良犬・猫の数を減少させるように努める。 ・適切かつ迅速に動物の死体を処理することにより、環境衛生を保持する。				
コストの方向性		↓ 減少				
成果の方向性		→ 維持				

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	272	環境美化推進事業							
	この事務事業 の位置		政策		自然環境を守り未来へつなぐまち							
			施策		緑を守り育て、まちを美しくしよう							
			基本事業		環境美化							
	主管課名		環境課		課長名	加藤 英樹						
	この事務事業の開始時期		平成7年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		みよし市環境美化に関する条例									
	事業の概要		現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由									
	・環境美化並びに快適な環境づくりに対する意識の高揚とごみの減量化・資源化について地域住民が自ら取り組んでいただくよう実践活動の輪を広げるための支援をする。		・生活を営む中で、便利さ、快適さを追求し、大量生産、大量消費、大量廃棄という経済体系を構築した結果、空気の汚れ、水の汚れ、ごみの増大により自然環境破壊並びに環境悪化を招くこととなった。 こうした中、地球的規模での環境問題が重要課題となっており、快適な市民生活の確保及び環境美化の促進を図る必要がある。									
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		・小中学校、保育園、幼稚園、公共施設にて緑のカーテン事業を実施。 ・一般家庭を対象に緑のカーテン用苗を無料配布。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	変化なし。				名称		単位					
					①	緑のカーテン実施件数	件					
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 市民					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
					名称		単位					
					①	みよし市の人口	人					
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 環境美化意識の醸成及び環境美化の実践をする					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
					名称		単位					
					①	環境美化実践活動を実施した行政区数	行政区					
					②	環境美化実践活動を実施したのべ人数	人					
結果(上位基本事業の意図) 環境美化意識の醸成、環境美化の実践					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
					名称		単位					
					①	環境美化実践活動回数	回					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 件			150	155	155	155	155			
		②										
(2)の 対象指標		① 人			61,153	61,040	61,570	62,100	62,360			
		②										
(3)の 成果指標		① 行政区			25	25	25	25	25			
		② 人			46,939	46,980	47,020	47,060	47,100			
(4)の結果の 成果指標		① 回			298	300	302	304	306			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	05
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	5,263	5,959	5,852	5,852	5,852			
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金		千円	0	0	521	500	521	521			
	地方債		千円	0	0	0	0	0	0			
	その他		千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源		千円	0	0	4,742	5,459	5,331	5,331	5,331		
人件費 B		千円	0	0	3,276	3,276	3,276	3,276	3,276			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	195×5	195×5	195×5	195×5	195×5			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	8,539	9,235	9,128	9,128	9,128			
単位あたりコスト ①		千円/人	0	0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1			
(トータルコスト/②)の対象指標		千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	272	環境美化推進事業
-------	-----	-----	----------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	環境美化に対する市民の意識の高揚になっている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	市と行政区で活動をしているため
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	環境美化の啓発につながるため
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	より一層の啓発に努める	
	目的達成状況	内容	現状維持	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 広く啓発活動を行う	
効 率 性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	現在の手法が適している。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	事業費は適正である。	
公 平 性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	無料配布を実施しているため。

3 改 革 改 善 案 A C T I O N	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	マナー並びにモラルに対する意識改革の徹底が必要である。	対応策	イベントや日常のパトロール等地道な啓発活動を継続する。
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	啓発活動	変 更 追 加	地道な啓発活動をしているため変更なし。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ・ポイ捨て等の防止に関する条例の施行により、行政だけでなく地域・住民・事業所が一体となって環境対策に取り組める体制作りを一層推進し、環境配慮型の新たなライフスタイルへの転換を求めていく。			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止				
	コストの方向性	→ 維持			
	成果の方向性	→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	273	不法投棄防止対策事業							
	この事務事業 の位置		政策		自然環境を守り未来へつなぐまち							
			施策		緑を守り育て、まちを美しくしよう							
			基本事業		環境美化							
	主管課名		環境課		課長名	加藤 英樹						
	この事務事業の開始時期		平成10年ごろ		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		みよし市環境美化に関する条例									
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	・快適な市民生活の確保のために、看板や監視カメラを設置することにより、不法投棄の未然防止及び再発防止を図る。				・ごみの不法投棄は夜間や人通りの少ないところで起き、発見されるのは、投棄された後がほとんどで、原因者の特定は困難である。そのため、不法投棄されたごみの処理は、みよし市が行わざるを得ないのが現状である。							
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			民間事業者に委託を行い、年間93日間の市内巡回パトロールを実施した。また、職員によるパトロールも実施し、啓発看板の設置、不法投棄されたごみの回収及び処理を行った。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	変化なし 不法投棄の防止に必要な事業であるため現状のまま継続して実施。				名称		単位					
					①	パトロール回数			回			
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 不法投棄されたごみの回収					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
					名称		単位					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 不法投棄件数を減らす					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
					名称		単位					
結果(上位基本事業の意図) 環境美化の意識の醸成、環境美化の実践					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
					名称		単位					
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 回			93	100	100	100	100			
		②										
(2)の 対象指標		① 件			42	40	40	35	35			
		②										
(3)の 成果指標		① %			66	65	65	63	63			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① 回			298	300	302	304	306			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	05
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	3,637	3,478	3,162	3,162	3,162			
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債		千円	0	0	0	0	0	0			
	その他		千円	0	0	0	1	1	1			
	一般財源		千円	0	0	3,637	3,477	3,161	3,161	3,161		
人件費 B		千円	0	0	4,532	4,532	4,532	4,532	4,532			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	240×5	240×5	240×5	240×5	240×5			
正職員以外の人件費		千円	0	0	500	500	500	500	500			
その他の費用 C		千円	0	0	334	163	163	163	163			
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	8,503	8,173	7,857	7,857	7,857			
単位あたりコスト ①		千円/件	0	0	202.5	204.3	196.4	224.5	224.5			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	273	不法投棄防止対策事業
-------	-----	-----	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	不法投棄件数が減少している。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	不法投棄件数が減少しているため対象を見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	不法投棄件数が減少しているため目的を見直す必要はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	パトロール回数や環境美化実践活動回数を増やせば成果を向上させることは可能。	
	目的達成状況	内容	計画値どおりで達成した。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input checked="" type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 迅速、柔軟な対応が求められ、市の職員が直接対応することが望ましいこともある。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	現状で適正	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	現状で適正	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	受益者がいない

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	リサイクル関連法の整備が進み、家電4品目、パソコン及び自動車を処理するためにリサイクル料金が必要となり、不法投棄の一因となっている。	対応策	パトロールの実施、不法投棄物の撤去、監視カメラの設置等で不法投棄されにくい環境を整える。
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	環境美化啓発を行った	変更追加	何も捨てられない状態を維持することが大切であり、捨てにくい環境を作ることが重要。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ・啓発看板を設置することで、啓発の頻度を高め、不法投棄防止を図る。また、不法投棄が頻繁に行われる場所について、現在市内8カ所に監視カメラを設置しているが、不法投棄頻度の高い箇所に監視カメラを追加設置することにより不法投棄されにくい環境づくりを行う。			
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	285	家庭ごみ計画収集事業						
	この事務事業 の位置		政策	自然環境を守り未来へつなぐまち							
			施策	緑を守り育て、まちを美しくしよう							
			基本事業	環境美化							
	主管課名		環境課		課長名	加藤 英樹					
	この事務事業の開始時期		直営S43年委託S52年		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	・住民から排出されるごみの収集運搬について業者に委託し、指定された集積所に置いて燃やすごみ、金属ごみ、陶磁器、ガラスごみ、再利用資源（びん・かん・ペットボトル）を収集、また戸別に粗大ごみを収集し、尾三衛生組合「東郷美化センター」に搬入する。				・ごみ排出量は人口増加とともに年々増加傾向にあるものの、ごみの適正処理を図ることは重要である。また、ごみには再び資源としてリサイクル活用できるものが数多くあるため、リサイクル運動（資源の再利用）を進め、あわせてごみの減量化を図る必要がある。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			各地区、燃やすごみ週2回、金属ごみ月2回、陶磁器・ガラスごみ月1回、再利用資源月1回、粗大ごみ週1回を計画的に収集した。燃やすごみ、金属ごみ、陶磁器・ガラスごみは指定ごみ袋による収集、びん・缶・ペットボトルの資源ごみは再利用資源コンテナを配布して収集し、粗大ごみは電話予約により戸別収集した。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	ごみの資源化、分別収集、直営分を委託化（平成16年）			名称		単位					
				① 再利用資源を除くごみの収集運搬量	t	② 再利用資源の収集運搬量	t				
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
①市民				名称		単位					
②家庭から排出されるごみ（燃やすごみ、金属ごみ、陶磁器・ガラスごみ、粗大ごみ、再利用資源）				① みよし市の人口	人		② 排出されるごみ量	t			
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
ごみの適正処理を行う				名称		単位					
				① 処理施設搬入量／ごみ・資源収集運搬量	%		②				
結果（上位基本事業の意図）				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
環境美化意識の醸成、環境美化の実践				名称		単位					
				① 市民1人1日当たりの家庭系ごみの量	g		②				
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標	① t			10,848	10,858	10,868	10,878	10,888			
	② t			53	58	63	68	73			
(2)の 対象指標	① 人			61,153	61,040	61,570	62,100	62,360			
	② t			19,521	19,021	18,521	18,021	18,521			
(3)の 成果指標	① %			100	100	100	100	100			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① g			514	508	502	496	492			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	04	項	02	目	01
コスト	年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費（決算又は予算額）A	単位	0	0	544,748	605,038	602,926	601,547	604,242			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	125,315	109,583	110,150	110,150	110,150		
	一般財源	千円	0	0	419,433	495,455	492,776	491,397	494,092		
人件費B	千円	0	0	5,036	5,076	5,076	5,076	5,076			
正職員従事時間×人数	時間×人	0×0	0×0	270×5	270×5	270×5	270×5	270×5			
正職員以外の人件費	千円	0	0	500	540	540	540	540			
その他の費用C	千円	0	0	515	407	407	407	407			
トータルコストA+B+C	千円	0	0	550,299	610,521	608,409	607,030	609,725			
単位あたりコスト	① 千円/人	0	0	9	10	9.9	9.8	9.8			
(トータルコスト/②)の対象指標	② 千円/t	0	0	28.2	32.1	32.8	33.7	32.9			

事務事業名	No.	285	家庭ごみ計画収集事業
-------	-----	-----	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	家庭から排出されるごみの回収を行うため、見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	家庭から排出されるごみの回収を行うため、見直す必要はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	再利用資源の収集運搬量を増加させ、ごみの減量化を図る	
	目的達成状況	内容	達成した	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 計画収集業者、シルバーに委託	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	現状で適正	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	現状で適正	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	現状で適正

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	尾三衛生組組合「東郷美化センター」に搬入するごみから発生する焼却灰等の排出先の確保が困難となっている。	対応策	ごみの分別を細分化し、焼却するごみの量を減らす。
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	家庭から排出されるごみを回収した	変更・追加	プラスチック製容器包装を資源として回収する。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ・ごみの減量化及び資源の有効利用を推進するとともに、住民の資源ごみ有効利用に対する認識を深め、ごみの分別収集並びにリサイクル運動（資源再利用）の普及を図るために「ごみ処理基本計画」に基づき、事業を実施する。 ・令和元年度からペットボトル、令和2年度からプラスチック製容器包装を計画収集の品目に追加することにより、ごみの減量化、再資源化を図る。			
	コストの方向性	→ 維持			
	成果の方向性	↑ 増加			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	286	不燃物埋立処分場管理事業							
	この事務事業 の位置		政策		自然環境を守り未来へつなぐまち							
			施策		緑を守り育て、まちを美しくしよう							
			基本事業		環境美化							
	主管課名		環境課		課長名	加藤 英樹						
	この事務事業の開始時期		昭和61年		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）									
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	<ul style="list-style-type: none"> ・尾三衛生組合で処理困難な廃棄物のうち、一般家庭から発生するコンクリートがらの埋立処分を行う。 <p>【不燃物埋立処分場】借地面積：8,816㎡</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・不燃物埋立処分場として、みよし市内の一般家庭から発生するコンクリートがらの埋立をしている。 ・尾三衛生組合の処理困難物について住民の利便性を図るため、自前の処分場が必要。 							
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等				平成25年4月1日より、処分場の搬入を再開							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	常駐職員がいたが、現在は無人である。				名称		単位					
					①	管理経費		千円				
		②										
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
家庭から排出されるコンクリートがら					名称		単位					
		①	不燃物処分量		t							
		②										
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
コンクリートがらを適正に処分する					名称		単位					
		①	処分場処分量/処分場搬入量		%							
		②										
結果（上位基本事業の意図）					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
環境美化意識の醸成、環境美化の実践					名称		単位					
		①	市民1人1日当たりの家庭系ごみの量		g							
		②										
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 千円			3,367	4,759	4,432	4,740	4,432			
		②										
(2)の 対象指標		① t			7.1	7.1	7.1	7.1	7.1			
		②										
(3)の 成果指標		① %			100	100	100	100	100			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① g			514	508	502	496	492			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	04	項	02	目	01
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費（決算又は予算額）A		単位	0	0	3,367	4,759	4,432	4,740	4,432			
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債		千円	0	0	0	0	0	0			
	その他		千円	0	0	11	1	1	1			
	一般財源		千円	0	0	3,356	4,758	4,431	4,739	4,431		
人件費B		千円	0	0	2,457	2,618	2,618	2,618	2,618			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	150×4	150×4	150×4	150×4	150×4			
正職員以外の人件費		千円	0	0	441	602	602	602	602			
その他の費用C		千円	0	0	69	61	61	61	61			
トータルコストA+B+C		千円	0	0	5,893	7,438	7,111	7,419	7,111			
単位あたりコスト		① 千円/t	0	0	830	1,047.6	1,001.5	1,044.9	1,001.5			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	286	不燃物埋立処分場管理事業
-------	-----	-----	--------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	処分が不可能な廃棄物の最終処分を行う必要があるため。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	家庭から排出されるコンクリートがらの最終処分場であるから。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	現状で適正
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	これ以上成果は向上しない	
	目的達成状況	内容	維持継続	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市の職員で十分に対応できる	
効 率 性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	現状で適正	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	現状で適正	
公 平 性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	受益者負担の見直しにより、令和2年度に改正

3 改 革 改 善 案 A C T I O N	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	無人の施設であるが、夏場の草刈り等で管理に人手がかかる。	対応策	環境作業員での対応とし、維持費を抑えている。
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	コンクリートがらを適正に処分した	変 更 追 加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ・平成20年12月より搬入を中止し、平成23年度から24年度において、適正化工事を実施。 ・平成25年度より、コンクリートがらのみを搬入開始。			
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			